

第 4 5 号 奈良LDの親の会『パンジー』

H 2 9 年 1 月 発行

パンジー通信

ホームページ <http://www.pansy-nara.net/>

「パンジー」はLD 及び ADHD、アスペルガー症候群、高機能自閉症、軽度知的障害など、発達障害児（者）の親の会です

パンジー通信四十五号 目次

- ・パンジーの会 講演会および全体交流会 2～3
- ・アド部 行政等活動訪問報告 4
- ・小中学部 奈良県教育委員会訪問 5
- ・土曜会青年部 秋のイベント
 新大宮ボーリング、カラオケ 6
- ・土曜会児童部 たのしいクリスマス 7～8
- ・パンジー各部活動報告
 運営部・小中学部・アド部(高卒相当以上)・ピアカン、土曜会各部
 9～10
- ・奈良障害フォーラムNDF報告会案内・参加申込書 11～12



みなさま、明けましておめでとうございます。パンジー代表の入船です。

昨年は、7月に滋慶医療科学大学の准教授であります岡耕平先生の講演会に引き続き、11月の全体交流会では、**社会保険労務士の溝上久美子先生**をお迎えし、「**障害者年金について**」ご講演をいただきました。(溝上先生は大阪おたふくの会会員です)

今回の障害者年金の申請のポイントでは、診断頂くお医者様とのコミュニケーションが大切であり、10ヶ条の「生活の困難さ」を家族が文書で事前に記述しておく大切さを教えて頂きました。やはり、本人が自立して出来ることが親にとっては喜びですが、周りのサポート体制の必要性を親子共に認識がなければ、障害年金はもらえなくなるのです。

今年もパンジーの皆様にとつてもご参考になる研修会や相互交流会を企画してまいりますので、皆さん積極的なご参加をお願い致します。

パンジーの会講演会および全体交流会 「障害者年金について」

11月13日（日）、あすなら苑（大和郡山市）にて平成28年度パンジー全体交流会を開催しました。参加者は小中学部8名、アド部7名の計15名でした。

講師に福祉系社労士・行政書士・AFP ぽぷりサポート事務所の溝川久美子氏をお迎えして「障害年金について」というテーマで講演していただきました。

精神・知的障害に係る障害年金の認定に地域差が生じていることをきっかけに、このほど「精神の障害に係る等級判定ガイドライン」が策定され、今年9月より施行しました。

溝川先生には年金制度の基礎知識から、ガイドラインに至るまで詳しく説明していただき、請求の手順やポイントなども具体的に分かりやすくお話ししていただきました。

地域差について、奈良県は障害基礎年金の不支給率が全国9位でワースト10に入っていることから、今まで受給判定が厳しかったのではないかと。そういった県は今後受給しやすくなり、逆に甘かった県は受給しにくくなる可能性が高い。認定機関も来年4月から東京一括審査に集約されるとのことです。

今回施行されたガイドラインでは、感覚過敏も判定の参考になるので、症状がある場合は診断書に記入してもらうこと。また診断書を作成してもらうとき、医師の問診に対して本人は「できる」と答えることが多いので、できない事など本人の前で言い難いのであれば、子供とは別で親も受診しておく必要があるとのこと。本人が納得して受給できるように、親子できちんと話し合う機会を持つことが大事だと感じました。

年金受給後も医療期間との関係を継続した方が良くとのことですが、会員からは特に問題が無いのに、定期的に通院もし辛いという意見もありました。

講演後は、会員からの質問にも丁寧に答えていただき、参加された方も皆さん最後まで熱心に聴かれていました。溝川先生には、お忙しい中貴重なお話をいただき、大変勉強になりました。誠にありがとうございました。

～近畿ブロック研修会にもお越しいただきました～

11月27日（日）に、大阪ドーンセンター中会議室にて、全国LD親の会近畿ブロック研修会が開催され、当会にお越しいただきました溝川久美子氏より、同じく障害年金について講演いただきました。

当会でお話いただいたことと合わせ、各都道府県の認定格差、認定におけるさまざまな困難を具体的にお話いただきました。

近畿ブロックの各会の代表者は真剣な面持ちで講演を聞き、その後、意見交流会では、各地域での実情、また、現在の状況について意見交換を行いました。

合わせてご報告させていただきます。



講演会終了後は、15歳以上の子を持つ親のアド部と、小中学生の子を持つ親の小中学部とに分かれて、お茶を飲みながらお話をする交流会を行いました。普段なかなかゆっくり話す機会がないので、皆さん時間が経つのを忘れて不安や悩みなどを思い思いに語り合いました。



～全体交流会 参加者の話し～

- ・ 最近やっと就労を始めたもののいつまで継続できるのか、不安な面もあるが、前向きになって進んで欲しいと願っている。また兄弟が近くにいないこともあり、子供の将来をどのように託していくべきかと模索中。
- ・
- ・ 働き始めて約3年が経過したものの、職場が変わり周りのメンバーが変わると子供が不安定になる時がある。今は子供を支えることができるが、将来や年金の継続手続きに一抹の不安がある。
- ・
- ・ 就労活動が停滞した昨今、子供にどうやって前向きにさせことができるか。心因性の身体症状を改善する方策や障害手帳の取得の是非、その方法、そして本人にどのように納得させるか。
- ・
- ・ 1人暮らしをさせ、ヘルパーさんを頼むものの、親も一緒にないと本人が受け入れない。また音に敏感でいつも耳栓をしているため、目覚まし等に気がつかず、たまに遅刻したりしている息子の将来を心配している。
- ・
- ・ 高校受験について、子供が興味を持ち将来やりたい職業があるので、専門学科への進学を考えている。そのため塾に通い、頑張って勉強に取り組んでいる。

行政訪問 活動報告

日 時 平成28年9月12日10時～12時 参加者 パンジーアド部 4名

配布資料 パンジー通信5月号 入手資料 平成28年度予算案の概要、雇用促進ジャーナル(5.6月号)

(1) 奈良県産業・雇用振興部 雇用政策課

・奈良県庁本館6階会議室 10時から11時 ・相手先: 能力開発係

県実施の二つの訓練を紹介され、実践能力訓練はハローワークで申し込み、事業所で一ヶ月の訓練(年間20コース)を行い、事業所に認められれば就職も出来る、4時間/日程度からはじめて半月あたりから、6～8時間にして行うケースや、一週間だけ実習して継続するか確認する方法もあり、方法はコーディネーターと相談して決める。集合型訓練(年二回)として介護員養成(旧ヘルパー2級)コースがある。訓練期間は240時間で8月～10月末迄の期間で現在実施中、次回は11月から開始予定で現在募集中とのこと。会員からは、訓練情報のわかりやすい公開や、就労後のきめ細かなフォローの実施、就労前の適正診断の強化とよりいっそうの障害特性を踏まえた必要な訓練機会の拡大、就職先の紹介、職場の開拓等をお願いした。

(2) 奈良県健康福祉部障害福祉課

・奈良県庁本館3階会議室 11時～12時 ・相手先: 雇用促進係

(特別支援の方の職場実習先や障害者雇用先の紹介・開拓や事業所の監査等を実施。)

県から就労支援の概要を、年度予算案の概要資料にて説明を受けた。

一般就労で新規のものは、障害者雇用拡大事業所支援事業(障害者雇用拡大に係わる設備・備品導入経費、管理運営を行う人材の配置経費等2500万円(上限500万円、県2/3・実施主体1/3負担)

特例子会社設立・運営支援事業(設立を支援するための調査研究、セミナー開催、アドバイザー派遣1400万円(上限500万円、県2/3負担:3箇所程予定)、増額のもの、精神障害者・発達障害者雇用企業サポート事業(相談員を1名から2名に増員)等で、福祉的就労支援で増額されたのは、県庁障害者就労支援推進事業等とのことであった。障害者就労機会の増加には各障害者にあわせた適切な業務の切り出しが必要でその実施開拓が課題とのこと、会員からは、支援施策のきめ細かな評価の実施、障害特性に応じた職場実習機会の拡大、就労後のきめ細かなフォローをお願いするとともに、昨年度の精神障害者の就労実績は若干増加しているものの、身体・知的障害者数と格段の差があり、さらなる支援をお願いした。

日 時 平成28年10月3日月 9時～12時00分 参加者 パンジーアド部 2名

配布資料 パンジー通信5月号 入手資料 障害者雇用の現状

(1) 奈良県労働局職業安定部職業対策課

・奈良第三地方合同庁舎1階会議室 9時から10時10分 相手先: 障害者雇用担当官他

障害者雇用は、昨年より率で増加し、全国平均を上回ったとのこと。精神障害者と発達障害者等の求職数は、全国的に年々増加傾向にあるとのこと等を資料にて説明を受けた。(奈良県下の具体的な数値不明、なお、発達障害者でも手帳取得の方は、精神障害者にカウントされているとのこと)平成30年から雇用率制度に精神障害者も雇用義務の対象となるため、雇用障害者の数に含める、その際民間企業の雇用率も少し上がること。(ただし、暫定運用として現在でも雇用数にカウントできている)

当方からは、就労先出口の拡大、就労時の段階的作業負荷や就労後の労働条件確認等のフォロー等きめ細かな対応をお願いした。なお特例子会社は、今年は新規の予定はないとのこと。

(2) 奈良県中小企業家同友会

・奈良県経済会館407号室 10時30分～12時 ・相手先: 事務局長代行

窓口が、事務局長が交代したため、まずパンジー組織の概要と発達障害の概要説明。代行からは、障害者各個人の得意な部分と苦手な部分を、企業側に明確に提示してくれると有難い、また、企業側からは、対応できそうな具体的作業を開示できるようにしていく必要がありますねと理解を示された。中小企業振興基本条例の紹介あり、地域に根づく企業が生まれ、そのなかで、障害者雇用も積極的に実施してくれる企業が育つことをお願いした。



平成28年11月9日水曜日、午前10時より県教育委員会に訪問してきました。

今年は小学生の保護者から2名、中学生からは1名の3名の参加でした。昨年も懇談して頂いた佐々木先生と特別支援巡回アドバイザーの先生が質問に答えて頂きました。

公立高校の入試の際に、合理的配慮がされた件数や事例についてという質問に対する答えですが、現時点では把握していないためお答えできないとの事でした。では配慮はして頂けるのかという質問に対しては、自治体の高校入試の担当の方が居るので、その方と相談しながらになるそうです。その際、中学での支援の実績を認めてもらう必要はあるようです。

公立高校に在学する発達障害を持つ生徒への合理的配慮の実例、事例は？という質問については、聴覚障害の方に対してですが、別室での試験や手話通訳、ノートテイクなどの支援をされているという話をされました。公立高校に配属されている特別支援員の数が少しずつではありますが増えてきているそうです。高校の状況を聞きながら配属されているそうです。各生徒のケースによって配属されている為、「この高校には居る」「支援員が必ず付く」というような事ははっきりお答えは出来ないとのことでした。

昨年も質問に上がっていましたが、i-p a tやタブレットの使用について、各教育委員会では学校に認めるように推奨しているが、学校は難色を示している。実際使用を認めている学校はどれくらいあるか？県としての推奨プランは？という質問については、まずは特別支援学校から数十台という単位で導入が進められていて、そこへ各市町村の先生方を招いて実際に使っている様子を見せるなどの研修を実施しているそうです。28年度は明日香養護学校で研修があったそうです。県が管轄している県立の学校に対しては県としては勧められているが、各市町村については教育委員会がメインとなるのだそうです。

発達支援計画についての話題では、「切れ目ない支援」を目指すために発達支援計画を作成していこうと奈良県では勧められています。H25年で49.8%、H26年で58.1%、H27年で73.3%実施されているそうです。ただ、コーディネーターの先生も新しい方ベテランの方といろいろおられるので、支援計画の書き方から指導したり、支援計画どおりにその子にとってより良い支援がなされているのかどうか？といった事を周知する為にも、巡回アドバイザーの先生が学校を回って下さっているそうです。

通級について、奈良県は他県に比べ特別支援学級の設置数が多く、支援学級を充実させる為に通級は手薄で、高校の通級がないという実状です。ですが国の流れとしては通級にシフトしていつているそうです。

支援の必要がなく、勉強はしんどくない、通級の方がいい、という生徒に対してどうお考えですか？という質問には、現時点では実態が見えないし、情報を得ない事には何とも言えない。全く考えていない訳ではないが、国の流れを見ながら検討していくとしか言いようがないとのお答えでした。

一つ一つの質問に丁寧に、真摯に答えて下さいました。約1時間半、大変勉強になり、意義のある時間を過ごさせて頂きました。

これからも毎年の訪問を続ける事で私達の声が届けていく事が出来ればと思います。

土曜会青年部



土曜会青年部7名と大庭先生とで、10月29日(土)12時半に近鉄新大宮駅に集合し、秋のイベントを楽しみました。

自分たちでどこに行き、何を楽しむのかを考え調べて、話し合い、予約し、当日駅まで自分たちで電車などを使って行き集合する。一から取り組むのが初めてな中学1年生たちとその保護者。来月の土曜会までにどこに行くかをそれぞれ調べてこよう、という課題をすっかり忘れて、誰かがするだろうとして来なかったりする姿が見られたり、中学生たちが自分たちで話し合う場に、保護者もついつい助言したりと、初心者マークな青年部。

さあ、行き先を決め、保護者が見守る中、電話で初めての予約! どう喋りだしたらいいかわからず長い間考え込んだり、想定外のことをいくつか聞かれ途中、親が電話をかわったりしながらも無事、ボーリングとカラオケをよやくすることができました。

ラウンドワンに到着してからはゲームセンターでそれぞれが楽しみ、その後、ボーリングを2ゲームしました。大学生などのお兄さんたちは、マイボールを持参する子もいて、プロ並み(!?)の腕前。中学生チームは和気あいあい、どうやって投げたらいいかなあなど言い合いながら楽しみました。とはいえ、マナーが守れなかったり、時間が押してもものんびりしていたりと、課題はありますが、少しずつ仲間意識が芽生えてきて有意義な時間を過ごすことができました。その後は、ジャンカラでカラオケを3時間。長時間のこのイベントの後には、電車でそれぞれ帰宅しました。

12月10日の土曜会はクリスマス会をすることにした青年部。プレゼントをそれぞれ持ちよりプレゼント交換をしたり、トランプやウノをしようということになり、福祉パークの体育館で行いました。自分がほしいものと人が喜ぶものは当然違います。何を選ぶのか、どこで買うのか、そして、プレゼントをもらったらどう対応するのか、プレゼント交換ひとつをとってもたくさん課題があります。

当日、大庭先生を中心に、楽しくクリスマス会をすごしました。青年部の部長の女子は、児童部のクリスマス会にサンタクロースになって登場し、プレゼントを手渡しました。

土曜会活動を通して、自立に向かって一歩ずつすすんでいく青年部。次の活動で、より一層成長した姿が見られることを期待しています。





たのしいクリスマス会



12月10日、県営福祉パークにてクリスマス会を行いました。土曜会児童部会員と兄弟姉妹、19名が参加し、楽しい時間を過ごしました。

赤、青のカードをひっくり返し競い合ったり、○×ゲームをしたり、お母さん達が頑張ってくれたジェスチャーゲーム、恒例のお名前ビンゴで盛り上がりました。ラストを飾るのはサンタさんからのプレゼント！みんな順番に並んでしっかり挨拶して受け取っていました。

< みんなの声 >



(小2男子) ゲームたくさんできてプレゼントも貰えて良い日だったなあ。

親 ゲームのルールも理解し積極的に参加できていて親子で楽しめました。

(小4男子) ジェスチャーゲームが面白かった。

親 ゲームのルールを上手く理解出来るか心配でしたが、とても楽しんで参加している様子を見て嬉しかったです。また参加させて頂きたいと思いました

(小3男子) ゲームで負けたのは悔しかったけど、楽しかった。

親 帰ってからプレゼントのおもちゃで嬉しそうに遊んでいました。

(小1女子) いろいろなゲームをしたり、サンタさんからプレゼントもらえて楽しかった

親 初参加でしたが、簡単なゲームで本人も理解出来て楽しかったみたいです。弟(5歳)も一緒に楽しめて良かったです。初めての名前ビンゴにドキドキして、ビンゴになった時は大喜びでした。





(小5女子) ○×クイズとお名前ビンゴが楽しかったです。

親 かなり満足して帰ってきたのか、家で弟たちに優しくしていました。

(小6男子) ビンゴが一番に当たって嬉しかった。ジェスチャーゲームのお母さん達が面白かった。

親 子どもだけでなく保護者も一緒に楽しめ、有意義な会でした。息子は児童部最後のクリスマス会ですが、とても良い思い出となりました

(小3男児) プレゼント交換は買うもの迷うのが楽しかったです。またやりたいです。

(小1男子) 名前ビンゴが楽しかったです。

親 きちんとルールを理解して、みんなの和の中に入っていたし、みんなも誘ってくれたので、とても良かったです。

(小5女児) ○○ちゃんがいなくて悲しかったけど、△△ちゃんと話しててん。楽しかった～!

親 仲のいいお友達がお休みなことが悲しくて泣いてましたが、何とか気持ちを切り替えてクリスマス会を楽しむことができました。幼さを感じたり成長を感じたり、日々色々な側面を見せますが彼女なりに頑張っていると思います。

(小5男児) お名前ビンゴが楽しかった。

親 いつもは参加する側だったのですが、今回は主催する側になり事前準備を手伝ってもらいました。裏方の大切さも理解しているのか文句も言わずに協力してくれました。



土曜会青年部の中学生のお姉さんが、今年もサンタに扮してプレゼントを配ってくれましたよ!!



パンジー各部活動報告 & 今後の予定

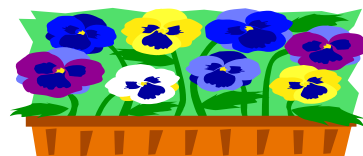
《 運 営 部 》

活 動 報 告

- 11月13日 パンジー講演会・全体交流会
- 11月27日 近畿ブロック講演会
- 12月 4日 運営会議

今 後 の 予 定

- 1月 9日 奈良障害フォーラム 代表者連絡会議
- 1月25日 パンジー通信印刷
- 2月18日 奈良障害フォーラム報告会
- 2月 新年会
- 2月26日 近畿ブロック会議
- 3月 5日 運営会議（総括）
- 4月23日 新旧役員会
- 5月21日 パンジー総会



《 小 中 学 部 》

活 動 報 告

- 9月21日 サロン川西参加
- 10月19日 サロン川西参加
- 11月 9日 県教育委員会訪問
- 11月16日 サロン川西参加

今 後 の 予 定

- 2月11日 ボーリング大会

《 アド部 》

活 動 報 告

- 9月12日 県庁障害福祉課、雇用労政課訪問
- 9月14日 アド部 おしゃべり会
- 10月3日 奈良労働局、中小企業同友会訪問
- 11月13日 全体交流会、アド部会

今 後 の 予 定

- 1月 アド部会

《 ピアカン 》

活 動 報 告

- 11月26日 ペアレントメンター交流会／畿央大学

今 後 の 予 定

- 3月 おしゃべり会（未定）

土曜会各部

土曜会は、特別支援教育士SVの大庭譲治先生が共に活動するソーシャルスキルトレーニング（SST）学習の場です。土曜会活動は、小学生の児童部、中高生の青年部、18歳以上の成人部の3つの部に分かれて活動しています。

児童部

活動報告

- 9月17日 土曜会活動／福祉センター
- 10月8日 土曜会活動／福祉センター
- 11月19日 土曜会活動／大和郡山ミニ体育館
- 12月10日 土曜会活動(クリスマス会)／福祉パーク

今後の予定

- 1月14日 土曜会活動／福祉パーク
- 2月11日 土曜会活動／福祉パーク
- 3月11日 土曜会活動／福祉パーク
- 4月8日 土曜会活動(フリーマーケット)／福祉センター

青年部

活動報告

- 9月17日 土曜会活動／福祉センター
- 10月8日 土曜会活動／福祉センター
- 10月29日 秋のイベント／新大宮ラウンドワン・ジャンカラ
- 11月19日 土曜会活動／大和郡山ミニ体育館
- 12月10日 土曜会活動(クリスマス会)／福祉パーク

今後の予定

- 1月14日 土曜会活動／福祉パーク
- 2月11日 土曜会活動／福祉パーク
- 3月11日 土曜会活動／福祉パーク
- 3月27日 春のイベント(未定)
- 4月8日 土曜会活動(フリーマーケット)／福祉センター



成人部

活動報告

- 11月19日(土) 近鉄西大寺店 白木屋
- Y君が幹事で、13名出席いたしました。
- Y君は昨年8月から一般就労にチャレンジして
- 広島県は呉で一人暮らしを始めました。
- みんな興味深く、仕事のこと暮らしのことを
- 聞いていました。

今後の予定

- 2月18日(土) 場所は大阪の未定
- K君が幹事です。

パピボラを募集しています!!